

Personal

つくる人

Tadashi Matsuoka

1957 年大阪生まれ兵庫育ち、香川在住。

デザイン・裁断・縫製からミシンのカスタマイズ・チューンナップ・メンテナンスまで、BLUE-Z 製品ができあがるまでの全工程を手がける。デザイン性・使い心地・機能性のいずれにも妥協せず、素材に呼応した One-Off のバッグをつくり続けている。

20 代からウインドサーフィン、ヨット、ハングライダーなどのウインドスポーツに親しみ、トップアスリートたちと交流を深めた。アバレルメーカーのプロダクトデザインを本業としていたこともあって独学で工業用ミシンの縫製技術を身につけていた Matsuoka は、やがてウインドサーフィン用のハーネスを製作するようになる。その堅牢性と完成度の高さから五輪選手・国体選手をはじめ数多くのトップレーサーに支持された。

実際に使用されたセイルだけが持つ独特の風合いと存在感をいとおしみ、ユーズドセイルを素材としてバッグをつくり始めたのは 1980 年代。元来バッグ好きであった Matsuoka にとって、必然の流れであった。2006 年から 3 年間 GRAPH Design に貢献したのち、より自らのイメージに沿った製作に専心すべく BLUE-Z をスタート。